

設問 A

【解答例 1】

対象を志向的状态をもつ行為者とし、その行動を予測すること。対象は適切な信念と欲求とを目的としてもち、その目的達成のため正しく行動を選択するという合理性があることが前提される。しかし、誤った知覚的信念に基づいて行動する際には、志向的スタンスよりも、幻覚を説明する物理的スタンスの方がうまく行動を予測するし、また自己欺瞞的な行為者には、明確な信念・欲求の帰属ができず、予測が不安定となる。

【解答例 2】

対象を志向的状态を持った合理的な行為者とみなす。つまり、対象が持つ目的を前提としたときの、もつべき信念と欲求を考え、それを前提として目的を達成するためにすべきことを考える。それが志向的スタンスでのふるまいの予測となる。対象が非合理的である場合、たとえば薬物による誤った知覚的信念を抱く場合や、対象のふるまいが不整合で、対象がどの信念・欲求に帰属するか特定できない場合は志向的スタンスでの予測は難しい。

設問 B

【解答例 1】

甲の前に立った人が、①恐るべき体臭を放ち、座っているのが甲にとって苦痛だったという状況が設定される。悪臭から逃れたいという明確な欲求があり、その充足のために採るべき行動を選択したのだから、合理的である。また、②顔が怖くて、因縁をつけられて暴力を振るわれる危険性を甲が感じたという状況が設定される。顔が怖いから暴力を振るわれうるといふ知覚的信念が正当かどうかは

ともかく、そのような知覚的信念に基づき暴力を回避するという目的で最善の行動を採ったのであるから、この行動は合理的である。最後に③よぼよぼの老人で、席を譲らなければならないと甲が思ったという状況を想定すると、これは利他的行動であり、自己利益を最大化する合理的なものとは言えないとされるかもしれない。しかし、甲が高齢者には席を譲らなければならないという強固な信念を持っている場合には、その行動は一貫しており、合理的である。

【解答例 2】

甲の前に高齢者が立ったとすれば、甲は高齢者を気づかって席を譲るだろう。自分の祖父母がいつも「体が痛い」と言っていたことを思い出した甲は、目の前の高齢者のことが他人事とは思えなくなる。この共感の心理から、喜んで席を立つのである。甲の前に立ったのが妊婦だった場合、甲は以前他者から受けた親切な行為を思い出す。幼子を抱えた自分に席を譲ってくれた人がいた。そのときの感謝の気持ちから、今度は自分がお返しをしたい、その繰り返しがよりよい社会につながるはずだという互惠の思いから席を立つのである。甲の前に立った人のバッグにヘルプマークが付いていた場合、表面からは伺いにくいその人の病状が推測可能となる。他者の手助けを必要とする人が、マークで控え目に意思を示すことのできるシステムを信頼し、席を立つことの妥当性が高いと甲は判断するのである。このように甲の利他行動は、人の持つ相互協力の観点から合理的に説明できる。

【解答例 3】

①甲の前に立った人は妊婦であった。甲は

妊婦の身体を気遣うべきだという信念をもっていた。また、甲は礼儀正しい人としてふるまいたいという欲求も持っていた。甲がその信念と欲求に従って、妊婦に席を譲るという目的のために席を立つ行為は合理的である。

②甲の前に立った人がひどい臭いを発していた。甲は新しい衣服を着ていて、服に臭いが移るのを避けたいという欲求を持った。その欲求に従ってひどい臭いの人からなるべく遠ざかるという目的のために席を立つという行為は合理的である。

③甲の前に立った人は甲の親しい友人であった。甲は友人と会ったことが嬉しく、色々な話がしたいという欲求があった。また、話をするためには、相手が立っていたのでは話しにくい。向こうに二人が座れる座席が空いていた。甲が友人と話すという目的にしたがい、向こうの席に移るために席を立つという行為は合理的といえる。

【解答例 4】

1つ目は、甲の前に立った人が妊婦の状況である。妊婦の心身的負担の重さに甲は共感を覚え、軽くしたい信念と欲求を持った。その実現のために席を譲ろうとして、甲が席を立ったことは合理的な行動だ。2つ目は、甲の前に立った人が旧友だった状況である。懐かしくて話したいという欲求と共に、大声で話して周囲に迷惑をかけたくないとの信念も甲にはある。両者を成立させるには、旧友の隣に立ち静かに会話をすることが目指される。そのため席を立った甲の行為は合理的だ。3つ目は、甲が咳き込んでいる状況だ。前に立った人は全くの他人で、その後も通勤客が相次いで電車に乗ってきた。コロナ禍で狭い空間での咳は後ろめたく、周囲の人からも冷た

い目で見られる。それを避けたい欲求がある甲は、電車を降りようとして席を立った。移動時間の延長は非合理的に映るが、心理的負荷を避ける点では合理的だ。2・3いずれの場合も、負の名声の回避では共通する。